

# 日本家庭科教育学会 第54回大会プログラム

**期日：2011年6月25日(土)～6月26日(日)**

**会場：長崎大学教育学部**

〒852-8521 長崎市文教町 1-14  
http://www.nagasaki-u.ac.jp/

大会事務局：赤崎真弓（大会実行委員長）

〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学教育学部

Tel&Fax：095-819-2368

E-mail：akasaki@nagasaki-u.ac.jp

日程

6月25日(土)						6月26日(日)					
8:30～	受付 (データインストール6月25日分:各発表会場)					8:30～	受付 (データインストール6月26日分:各発表会場)				
9:00 ～11:20	口頭研究発表					9:00 ～11:40	口頭研究発表				
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	31番 講義室	32番 講義室	33番 講義室	42番 講義室	43番 講義室		31番 講義室	32番 講義室	33番 講義室	42番 講義室	43番 講義室
	A1-1 ～A1-6	A2-1 ～A2-7	A3-1 ～A3-7	A4-1 ～A4-7	A5-1 ～A5-7		B1-1 ～B1-8	B2-1 ～B2-8	B3-1 ～B3-7	B4-1 ～B4-8	B5-1 ～B5-8
11:20 ～12:20	昼食					11:40 ～12:40	昼食 新旧役員会 (11.45～12:35 41番講義室)				
12:20 ～12:50	ポスタープレゼンテーション					12:40 ～13:10	ポスタープレゼンテーション				
	奇数番号 (第6会場:24番講義室、第7会場:25番講義室)						偶数番号 (第6会場:24番講義室、第7会場:25番講義室)				
13:10 ～14:10	総会 (全学教育講義棟 201 教室)					13:20 ～15:20	シンポジウム 「家庭科を学ぶ子どもが輝くのはなぜか ー学校カリキュラムのつくりなおしー」 (全学教育講義棟 201 教室)				
14:30 ～17:00	講演会・対談 「このとりのゆりかごが問いかけたもの ー家庭科教育への期待ー」 (全学教育講義棟 201 教室)						書籍展示・頒布(23番講義室 大会期間中)				
18:00 ～20:00	懇親会 (会場:サンプリエール)										

\* 6月24日(金) 13:30～15:30 理事会(41番講義室)

17:00～19:00 地区会代表者会議(41番講義室)

## 目 次

研究発表	
口頭発表	1
ポスター発表	9
実行委員会企画	
講演会・対談	11
理事会企画	
シンポジウム	12
懇親会のご案内	13
お知らせ	
大会参加費	14
昼食について	14
保育室について	14
宿泊等について	14
研究発表をされる方への連絡事項	
口頭研究発表	15
ポスター研究発表	16
長崎大学キャンパスマップ	17
会場配置図	18
交通アクセス	19

# 研究発表

【口頭発表】（発表番号の A は第 1 日目、B は第 2 日目）

【6 月 25 日】第 1 会場（3 階 31 番講義室）

【午前 9:00～10:00】座長： 菊地 るみ子

- |      |  |  |  |
|------|--|--|--|
| A1-1 | 日本手拭いにみる江戸歌舞伎役者文様<br>日本衣文化の被服教材への活用              | 琉球大学教育学部生活科学教育専修   | 富士栄 登美子  |
| A1-2 | 「和」の生活文化を体験する家庭分野の授業実践<br>中学校における浴衣の着付けを導入した試みから | 横浜国立大学教育人間科学部<br>横浜国立大学教育人間科学部<br>埼玉大学教育学部<br>茨城キリスト教大学生生活科学部<br>山梨県立大学人間福祉学部<br>大妻女子大学短期大学部 | ○堀内 かおる<br>薩本 弥生<br>川端 博子<br>扇澤 美千子<br>斉藤 秀子<br>呑山 委佐子 |
| A1-3 | 授業者の浴衣の着用技能の習得が和服の着装を扱う授業のデザインに与える影響             | 静岡大学教育学部   | ○小清水 貴子  |

【午前 10:00～11:00】座長： 滝山 桂子

- |      |   |                                     |                          |
|------|---|-------------------------------------|--------------------------|
| A1-4 | 被服製作に関する知識と技能の実態<br>帰国生と一般生の比較                      | 高等工科学校<br>東京学芸大学                    | ○山崎 真澄<br>池崎 喜美恵         |
| A1-5 | 初等教員養成のための被服製作教育の検討<br>－被服製作実習による縫製技術習得と被服への関心について－ | 福岡教育大学教育学部                          | ○長山 芳子                   |
| A1-6 | 中学校家庭科における衣生活と住生活をつなぐ授業の有効性<br>着衣着火から高齢者の安全・安心を考える  | 有田市立箕島中学校<br>和歌山大学教育学部<br>和歌山大学教育学部 | ○北又 寿美<br>今村 律子<br>赤松 純子 |

【6 月 25 日】第 2 会場（3 階 32 番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長： 伊深 祥子

- |      |                          |                           |                 |
|------|--------------------------|---------------------------|-----------------|
| A2-1 | 中学校家庭科の保育学習における心理劇の教育的効果 | 千葉大学教育学部附属中学校<br>千葉大学教育学部 | ○鎌野 育代<br>伊藤 葉子 |
|------|--------------------------|---------------------------|-----------------|

A2-2	ナラティブを用いた中学生のふれ合い体験学習のまとめ方	さいたま市立本太中学校 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高校 香川大学教育学部 秋田大学教育文化学部	○金子 京子 倉持 清美 阿部 睦子 妹尾 理子 望月 一枝
A2-3	中学生の幼児への食育レッスン 保護者の視点を導入して	東京学芸大学附属高校 東京学芸大学教育学部 さいたま市立本太中学校 香川大学教育学部 秋田大学教育文化学部	○阿部 睦子 倉持 清美 金子 京子 妹尾 理子 望月 一枝
A2-4	幼児が中学校に来校するふれあい体験の利点と課題	横浜国立大学教育学研究科 (院生)	萬谷 恵三子

【午前 10:20～11:20】座長：倉持 清美

A2-5	小学校家庭科における家族と自分の成長をみつめなおす教材開発	東京学芸大学附属大泉小学校 東京学芸大学附属小金井小学校 東京学芸大学附属特別支援学校 東京学芸大学	○小野 恭子 藤田 和美 池尻 加奈子 大竹 美登利
A2-6	「近代家族」を超える家族の教材を求めて	横浜国立大学教育人間科学部 横浜国立大学大学院教育学研究科 (院生)	○鈴木 敏子 山田 美砂子
A2-7	聾学校高等部家庭科における「共生社会と福祉」を考える授業の構築 ー「児童虐待」「赤ちゃんポスト」報道を題材にした授業よりー	横浜国立大学大学院教育学研究科 (院生) 横浜国立大学教育人間科学部	○山田 美砂子 鈴木 敏子

【6月25日】第3会場（3階33番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長：石井 克枝

A3-1	高等学校家庭科専門科目「フードデザイン」の効果的な指導方法に関する実践的研究	広島県立総合技術高等学校 広島県立総合技術高等学校 広島県立佐伯高等学校 広島大学大学院教育学研究科	○長谷川 真由美 小椋 由美 長谷中 久美 鈴木 明子
A3-2	高等学校「家庭」における食生活を中心とした新しい授業構想とその評価 ～食卓写真の比較から私たちの生活を探る～	大阪府立かわち野高等学校 兵庫教育大学大学院学校教育研究科	○佐藤 友紀 増澤 康男
A3-3	高等学校家庭科への食育プログラム導入に係る実践的検討 「3・1・2お弁当箱法」による学習効果を視点として	岩手県立水沢高等学校 岩手大学教育学部 岩手大学教育学部	○多田 江利子 長澤 由喜子 渡瀬 典子

A3-4	食料生産から消費までを視野に入れた家庭科高校食分野の授業実践とその検証―食料自給率を取り入れた授業の展開―	東京都立府中高等学校（非）	中里 洋子
------	---	---------------	-------

【午前 10:20～11:20】座長：望月 一枝

A3-5	高校生の生活実態から構築する食生活領域のカリキュラムの提案	國學院大學栃木短期大学 元都立高等学校（非） 文化学園大学 東京学芸大学附属小金井中学校 東京都立忍岡高等学校 三輪田学園中学校・高等学校 横浜国立大学教育人間科学部	○亀井 佑子 江見 直子 川村 めぐみ 佐藤 麻子 佐藤 真紀子 高橋 礼子 金子 佳代子
A3-6	大学の教養科目における消費生活力育成に関する研究 一塩分摂取及び食品添加物に関する食育教材と家庭科―	岡山県立大学保健福祉学部	岸本(重信) 妙子
A3-7	家庭科教員養成における農場での生産実習の意義	女子栄養大学栄養学部 女子栄養大学栄養学部	○井元 りえ 仙波 圭子

【6月25日】第4会場（4階 42番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長：鈴木 真由子

A4-1	女子高校生の生活設計における職業への意識	千葉県立流山南高等学校 千葉大学教育学部	○仲田 郁子 久保 桂子
A4-2	大学生の生活設計に対する意識 生活設計教育のための予備研究	群馬大学教育学部 愛知教育大学	○小林 陽子 岳野 公人
A4-3	大学生のワーク・ライフ・バランスと生活実感に関する一考察	山梨大学 教育人間科学部 香川大学 教育学部	○志村 結美 時岡 晴美
A4-4	女子大学生との比較にみる男子大学生のワーク・ライフ・バランスに対する意識	横浜市立旭中学校 横浜国立大学教育人間科学部	○杉本 直大 堀内 かおる

【午前 10:20～11:20】座長：志村 結美

A4-5	高等学校家庭科において勤労観・職業観を育てるキャリア教育の実践	大妻中学高等学校（非） 日本女子大学家政学部	○佐々木 麻紀 内野 紀子
A4-6	『教育カルタ』の教材としての汎用 一世代別女性のジェンダー意識の分析	東京家政大学短期大学部	青木 幸子

A4-7	韓国の大学生の性別役割分業意識の形成と家庭科教育	島根大学教育学研究科(院生) 島根大学教育学部	○鄭 暁静 多々納 道子
------	--------------------------	----------------------------	-----------------

【6月25日】第5会場（4階 43番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長： 荒井 紀子

A5-1	アジア地域の日本人学校における家庭科指導の実態と課題	東京学芸大学教育学部	池崎 喜美恵
A5-2	実践的推論を導入した問題解決学習の効果—ホームプロジェクト学習における学習方略の変化—	鳥取大学地域学部 鳥取県立米子東高校	○福田 恵子 後藤 真理
A5-3	エレン・リチャーズの『ユースニクス』（第5章）にみる家庭科の今日的意義	西南学院大学	西野 祥子
A5-4	占領下日本における家庭科教育ナショナル・リーダーのアメリカ視察—CIEと教育総局の連携—	広島大学大学院教育学研究科	柴 静子

【午前 10:20～11:20】座長：伊藤 圭子

A5-5	家庭科教員のFD—附属学校における助言能力の習得過程を中心に—	九州女子短期大学（非） 宮城学院女子大学（非） 宇都宮共和大学 愛知学泉大学（非） 広島大学（元）	○柳 昌子 中屋 紀子 牧野 カツコ 吉原 崇恵 田結庄 順子
A5-6	家庭科教育を担当する大学教員の能力形成—附属学校研究会での助言・講評の実情と課題—	宮城学院女子大学（非） 九州女子短期大学（非） 宇都宮共和大学 愛知学泉大学（非） 広島大学（元）	○中屋 紀子 柳 昌子 牧野 カツコ 吉原 崇恵 田結庄 順子
A5-7	問題解決リテラシーに関わる家庭科教員の力量形成の為のプログラム開発 教員免許状更新講習を事例として	福井大学教育地域科学部 福井大学教育地域科学部 福井大学教育地域科学部 大阪教育大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学類	○荒井 紀子 竹内 恵子 松田 淑子 鈴木 真由子 綿引 伴子

【6月26日】第1会場（3階 31番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長：永田 智子

- |      |   |   |  |
|------|---|---|--|
| B1-1 | 家庭科住生活授業の実践状況<br>東海地方中学校、高等学校の教員調査<br>を通して                | 静岡大学教育学部<br>三重大学教育学部<br>山梨大学教育人間科学部<br>岐阜大学教育学部<br>愛知教育大学教育学部<br>愛知教育大学教育学部 | ○小川 裕子<br>中島 喜代子<br>田中 勝<br>石井 仁<br>杉浦 淳吉<br>小川 正光 |
| B1-2 | 家庭科住教育実践に対する認識と志向<br>東海地方中学校、高等学校の教員調査<br>を通して            | 三重大学教育学部<br>静岡大学教育学部<br>山梨大学教育人間科学部<br>岐阜大学教育学部<br>愛知教育大学教育学部<br>愛知教育大学教育学部 | ○中島 喜代子<br>小川 裕子<br>田中 勝<br>石井 仁<br>杉浦 淳吉<br>小川 正光 |
| B1-3 | 静岡県内の中学校及び高等学校における家庭科住領域の授業内容<br>ー 教員向けアンケート調査結果の自由記述分析 ー | 山梨大学教育人間科学部<br>静岡大学教育学部<br>三重大学教育学部<br>岐阜大学教育学部<br>愛知教育大学教育学部<br>愛知教育大学教育学部 | ○田中 勝<br>小川 裕子<br>中島 喜代子<br>石井 仁<br>杉浦 淳吉<br>小川 正光 |
| B1-4 | 新潟県における高等学校家庭科〈住生活領域〉の実施状況                                | 近畿大学医学部<br>新潟大学教育学部   | ○萬羽 郁子<br>五十嵐 由利子                                  |

【午前 10:20～11:40】座長：鈴木 洋子

- |      |   |                                  |                    |
|------|---|----------------------------------|--------------------|
| B1-5 | 発見・習得・活用のサイクルを取り入れた高等学校家庭科住生活分野の学習一鳥瞰図を用いた教材の開発と実践ー | 兵庫教育大学大学院<br>兵庫教育大学大学院           | ○浅野 三奈<br>永田 智子    |
| B1-6 | 住民参画意識を育成するまちづくり学習                                  | 三重大学教育学部<br>三重大学大学院教育学研究科（院生）    | 中島 喜代子<br>○長谷川 千恵子 |
| B1-7 | 小学校家庭科におけるシティズンシップを育成するための授業実践<br>旭川市の除雪課題を通して      | 北海道教育大学教育学部旭川校<br>北海道教育大学教育学部旭川校 | ○土岐 圭介<br>岡田 みゆき   |
| B1-8 | 家庭科のねらいをふまえた住居領域の指導<br>3dソフトの活用と生徒への働きかけ            | 元女子栄養大学                          | 尾崎 沙和子             |

【6月26日】第2会場（3階 32番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長：松田 淑子

B2-1	中学校家庭科における「消費生活と環境」の指導内容に関する研究 衣生活教育との関連	熊本大学教育学研究科（院生） 熊本大学教育学部	○堀内 香亜衣 宮瀬 美津子
B2-2	中学校・高等学校家庭科における消費者教育の実態—近畿地区を対象にした抽出調査を通して—	大阪教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部	○鈴木 真由子 大本 久美子
B2-3	学習者の質的な変容を捉える評価の試み 高校家庭科の授業実践	名古屋女子大学家政学部	神山 久美
B2-4	高等学校における「消費者の権利と責任」に関する授業実践	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 神奈川県川崎市立はるひ野中学校	○速水 多佳子 石田 絢子

【午前 10:20～11:40】座長：宮瀬 美津子

B2-5	高等学校家庭科における環境教育の導入～神戸市「緑のカーテン啓発事業」分析結果から～	神戸女子大学家政学研究科（院生）	大井 彩子
B2-6	家庭科の視点を中軸に据えたESDモデルの開発	千葉大学 千葉大学	○中山 節子 伊藤 葉子
B2-7	高等学校家庭科における格差社会の諸課題を考える学習の教育的効果	東京学芸大学（非） 千葉大学 愛媛大学 神奈川県立麻生総合高等学校 千葉県私立東葉高等学校 東京都立大江戸高等学校 東京都私立白百合学園中学高等学校	○富田 道子 中山 節子 藤田 昌子 松岡 依里子 若月 温美 坪内 恭子 中野 葉子
B2-8	「貧困」の学びと教育課程および教員養成の課題	鹿児島大学教育学部	齋藤 美保子

【6月26日】第3会場（3階 33番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長：伊藤 葉子

B3-1	小学校調理実習における日常生活と関連付けた調理技能習得の研究	埼玉大学大学院（院生） 埼玉大学教育学部	○芳川 りえ 河村 美穂
B3-2	調理学習における「手続き的知識に関わる技能」の習得に関する研究	埼玉大学教育学部	河村 美穂



- |      |  |  |                                   |
|------|--|--|-----------------------------------|
| B3-3 | 小学校第2学年における家庭科調理学習の実践<br>生活科で栽培したさ大根を使った調理 | 岡山県倉敷市立赤崎小学校<br>岡山県吉備中央町立大和小学校<br>岡山大学大学院教育学研究科                  | ○西谷 圭二<br>信清 亜希子<br>佐藤 園          |
| B3-4 | 小学校における「時間」に関する教育と教科「家庭科」の役割               | 岡山県吉備中央町立大和小学校<br>岡山県倉敷市立赤崎小学校<br>香川県さぬき市立前山小学校<br>岡山大学大学院教育学研究科 | ○信清 亜希子<br>西谷 圭二<br>蓮井 有香<br>佐藤 園 |

【午前 10:20～11:20】座長：河村 美穂

- |      |  |  |                                  |
|------|--|--|----------------------------------|
| B3-5 | アクティブ・エイジングを志向した食生活の学習<br>—中学校家庭科において— | 福島大学人間発達文化学類                                     | 角間 陽子                            |
| B3-6 | 中学校における調理実習の課題解決に向けた授業の実践              | 伊賀市立青山中学校<br>三重大学 教育学部<br>三重大学 教育学部<br>三重大学 教育学部 | ○前田 紀夫<br>磯部 由香<br>平島 円<br>吉本 敏子 |
| B3-7 | 食と環境についての意識調査<br>家庭教育による影響             | くらしき作陽大学<br>付属浜松中学校                              | ○諸岡 浩子<br>加賀 恵子                  |

【6月26日】第4会場（4階 42番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長：青木 香保里

- |      |                                |                                       |                   |
|------|--------------------------------|---------------------------------------|-------------------|
| B4-1 | 「食育すごろくゲーム」教材の開発とその有効性         | 上越教育大学学校教育研究科（院生）<br>上越教育大学大学院学校教育研究科 | ○石澤 美代子<br>得丸 定子  |
| B4-2 | 家庭科における「生徒の睡眠と生活環境」に関する学習プログラム | 滋賀大学教育学部                              | 田中 宏子             |
| B4-3 | 小学生の「生活を支える仕事」への参加への態度         | 千葉市立新宿小学校<br>千葉大学教育学部                 | ○鳥羽 波峰<br>久保 桂子   |
| B4-4 | 大学生のギャンプルとの関わりの実態からみる生活経営の課題   | 東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科<br>大阪教育大学        | ○奥谷 めぐみ<br>鈴木 真由子 |

【午前 10:20～11:40】座長：田中 宏子

- |      |                    |                       |       |
|------|--------------------|-----------------------|-------|
| B4-5 | 横浜市における家庭科教員の実態と課題 | 横浜国立大学大学院<br>横浜市立旭中学校 | 葛川 幸恵 |
|------|--------------------|-----------------------|-------|

B4-6	もう一つのディスコースへの気づき 小学校家庭科における家族の学習過程	秋田大学教育文化学部	望月 一枝
B4-7	高校生の家族受容の実態と家庭科教育における家族学習のあり方	藤女子大学大学院 藤女子大学大学院	○三住 久美子 飯村 しのぶ
B4-8	小学校家庭科における問題解決学習に関する事例研究 問題の把握場面に着目して	上越教育大学 大学院学校教育研究科 秋田大学 教育文化学部	○佐藤 ゆかり 小高 さほみ

【6月26日】第5会場（4階 43番講義室）

【午前 9:00～10:20】座長：堀内 かおる

B5-1	大学生の「家庭科」に対するイメージ	名古屋女子大学 家政学部	藤田 智子
B5-2	大学生が抱く家庭科に対する意識	鹿児島大学教育学部 鹿児島大学教育学研究科（院生）	○黒光 貴峰 徳重 礼美
B5-3	家庭科と他教科との関連性に関する研究	鹿児島大学教育学研究科（院生） 鹿児島大学教育学部	○徳重 礼美 黒光 貴峰
B5-4	家庭科ものづくり学習への意識と自己効力感との関係 小学校6年生を対象とした調査から	広島大学大学院教育学研究科	鈴木 明子

【午前 10:20～11:40】座長：亀井 佑子

B5-5	家庭科で「身につく力」と「身につけたい力」 高校生の家庭科観からの考察	東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 横浜国立大学 教育人間科学部	○土屋 善和 堀内 かおる
B5-6	自らの生活を捉え直す学びの過程 他者とのかかわりを中心に	宮崎大学大学院教育学研究科	伊波 富久美
B5-7	聴覚特別支援学校中学部家庭科におけるICTの活用	筑波大学附属聴覚特別支援学校	有友 愛子
B5-8	神奈川県公立高等学校における福祉関連科目の設定状況 -家庭科・福祉科専門科目の分析-	横浜国立大学大学院（院生）	宮 美也子

## 【ポスター発表】 2階 24 番講義室・25 番講義室

掲示は6月25日(土) 9:00 ~ 6月26日(日) 13:10

プレゼンテーションは、奇数番号【6月25日(土)】 12:20 ~ 12:50

偶数番号【6月26日(日)】 12:40 ~ 13:10

### 【第6会場】(2階 24 番講義室)

P01	合成洗剤のすすぎ性能に関する基礎的研究とその教材化	鳴門教育大学学校教育研究科	福井 典代
P02	小学校第1学年における家庭科調理学習の実践 生活科で栽培したさつまいもを使った調理	岡山県吉備中央町立大和小学校 岡山県倉敷市立赤崎小学校 岡山大学大学院教育学研究科	○信清 亜希子 西谷 圭二 佐藤 園
P03	保育者の家庭支援の視点 恵庭市プレイセンターのスーパーバイザーを通して	北海道文教大学人間科学部 こども発達学科	古郡 曜子
P04	認知的動機づけ理論にもとづく高等学校家庭科調理実習の実証的研究	明石市立明石商業高等学校 兵庫教育大学大学院学校教育研究科	○牧田 利枝 永田 智子
P05	小・中・大学生を対象とした被服製作用語と調理用語の知識や技能の実態 家族機能やと達成動機とのかかわり	弘前大学教育学部	日景 弥生
P06	小学校家庭科ガイダンス教材としてのデジタル絵本の開発 ～試作の開発と評価～	兵庫教育大学大学院 兵庫教育大学大学院	○鈴木 千春 永田 智子
P07	中学校家庭科における北海道産米粉の教材としての有効性の検討	北海道教育大学旭川校	川邊 淳子
P08	小学校教員養成における家庭科関連科目の指導方法に関する研究 ー基礎的・基本的な知識及び技能習得に着目してー	安田女子大学 海田町立海田東小学校 広島大学附属小学校 広島県立佐伯高等学校 広島大学大学院教育学研究科	○大下 市子 沖本 久恵 森下 友紀 長谷中 久美 鈴木 明子
P09	小学校に所属する栄養教諭の「食に関する指導」への意識と実態 ー教科等における役割や内容への認識の分析ー	海田町立海田東小学校 長崎県立大学 広島大学大学院教育学研究科	○沖本 久恵 富永 美穂子 鈴木 明子

【第7会場】(2階 25番講義室)

P10	高等学校家庭科における洗浄力試験教材の実践	千葉県立関宿高等学校 北海道教育大学	○亀原 めぐみ 森田 みゆき
P11	中学校技術・家庭科家庭分野における食生活の実践力を高める指導方法の工夫ー学習の継続性を考慮した指導の効果ー	東広島市立松賀中学校 広島県立佐伯高等学校 広島大学大学院教育学研究科	○石本 有士 長谷中 久美 鈴木 明子
P12	ふれ合い体験の内容による中学生の学びの特徴 異なる関わり方からの検討	東京学芸大学教育学部 さいたま市立本太中学校 東京学芸大学附属高校 香川大学教育学部 秋田大学教育文化学部	○倉持 清美 金子 京子 阿部 睦子 妹尾 理子 望月 一枝
P13	高校生の生活実態から構築する食生活領域カリキュラムの実践	東京都立忍岡高等学校 元都立高等学校 (非) 國學院大學栃木短期大学 文化学園大学 東京学芸大学附属小金井中学校 三輪田学園中学校・高等学校 横浜国立大学教育人間科学部	○佐藤 真紀子 江見 直子 亀井 佑子 川村 めぐみ 佐藤 麻子 高橋 礼子 金子 佳代子
P14	ホームプロジェクトコンクールから考える指導法の課題	千葉県私立東葉高等学校 千葉県立流山南高等学校	○若月 温美 仲田 郁子
P15	中高一貫校における家庭科カリキュラムに関する調査研究	青山学院大学教育人間科学部 (非) 埼玉大学教育学部 宇都宮大学教育学部 私立中学校・高等学校 (非) 静岡大学教育学部 文教大学附属中学高等学校 千葉県立流山高等学校 女子学院中学校高等学校 私立中学校・高等学校 (非) 葛飾区立新宿中学校 東京都立日比谷高等学校 (非) 東葉高等学校	○千葉 悦子 河村 美穂 良 香織 小倉 礼子 小清水 貴子 佐藤 千秋 仲田 郁子 中村 恵美子 松井 洋子 松岡 文子 山本 光世 若月 温美
P16	清潔で気持ちのよい着方を考える小学校家庭科授業	岡山大学 岡山大学	○越宗 久美子 篠原 陽子
P17	中学校「技術・家庭」における食生活指導の検討ー「3・1・2弁当箱法」導入の学習効果	山形大学 山形大学 山形大学教育実践研究科 (院生)	○高木 直 大森 桂 齋藤 弘子

## 実行委員会企画

### 【講演会・対談】

6月25日（土）14:30～ 17:00 長崎大学 全学教育講義棟 201 教室

テーマ：こうのとりのゆりかごが問いかけたもの ―家庭科教育への期待―

**趣旨：**安心して子どもを産み育てる環境を整えることは現代社会における重要課題であるが、捨てられ失われるいのちが後を絶たないのが現状である。熊本市の民間病院が2007年に設置した赤ちゃんポスト「こうのとりのゆりかご」は、この問題を全国に問いかける大きな契機となった。本講演会では、「ゆりかごの要らない社会」をめざして、家庭科教育が果たす役割について考える場としたい。

講 師 : 田尻 由貴子 氏（慈恵病院看護部長）

インタビュアー： 綿引 伴子 氏（金沢大学教授）

### 講師プロフィール

1973年公衆衛生看護学院卒業、1998年佛教大学社会福祉学部卒業、2008年熊本県立大学院アドミニストレーション科修了。助産師、保健師、看護師として長年医療に従事し、2000年より現職。所属学会 日本母性衛生学会他。社会活動として、熊本市出産をめぐる赤ちゃんとお母さんの安心づくり地域連携会委員や熊本県すこやか親育ちサポート事業検討会委員、熊本県周産期ママサポート事業検討会委員など公的委員を歴任。

## 理事会企画

### 【シンポジウム】

6月26日 13:20～15:20 長崎大学 全学教育講義棟 201 教室

テーマ：家庭科を学ぶ子どもが輝くのはなぜか  
ー学校カリキュラムのつくりなおしー

**趣 旨：**本学会では家庭科教育の充実を目指して、さまざまな取り組みを行ってきた。そのなかでは対外的にも家庭科の重要性をアピールし、成果も表れつつある。しかし、社会一般的には家庭科の重要性や意義を十分に理解されているとは言い難い状況である。現在本学会では家庭科の時間増の実現を目指して、中・高の家庭科教員の置かれている立場を明らかにして一般向けのパンフレット作りや冊子作りに取り組んでいる。また、家庭科関係者が家庭科の必要性をアピールするためのマニュアル作り（Q&A）に取り組んでいる。教育課程全体の中で家庭科の存在感を高め、家庭科の必要性や意義を正しく理解してもらうための理論と方策を考える場が必要であるとともに、これらの取り組みについて、多くの方々に理解してもらい、共に取り組んでいく必要があると考え、本企画を計画した。

パネリスト           : 野口 易子 氏 (福岡県みやま市立瀬高中学校教諭)  
                          前田 恵美子 氏 (長崎県立口加高等学校教諭)  
                          岡 陽子 氏 (佐賀県教育庁教育政策課教育企画監)

コーディネーター：大竹 美登利 氏 (東京学芸大学教授)

## 懇親会のご案内

日時 : 6月25日(土) 18:00~20:00

会場 : サンプリエール 長崎市元船町 2-4

tel 095-822-3390

(<http://www.nagasaki-heiankaku.jp/stpriere/index.html>)

会費 : 6000 円

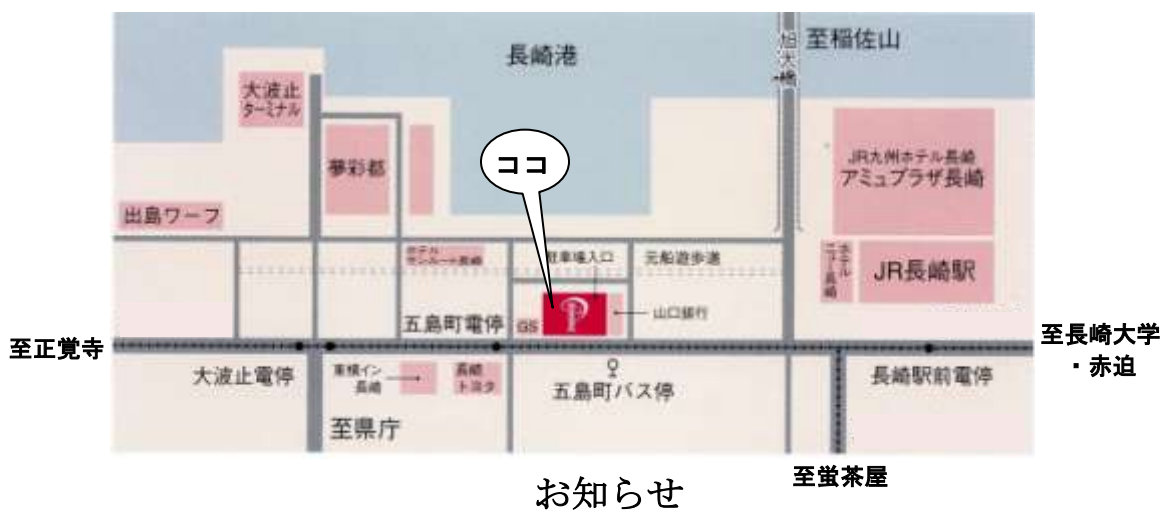
長崎の美味しい食材と郷土料理をお楽しみ下さい。

長崎大学学生さんによる、迫力あふれる「龍(じゃ)踊り」もご期待下さい。

参加者同士の交流を深めたく、皆様のご参加をお待ちしております。

### 懇親会会場への交通

- 路面電車 (120 円) 「長崎大学前」 から 「正覚寺」 行きに乗車 「五島町」 下車、徒歩 1 分  
「長崎大学前」 から 「蛍茶屋」 行きに乗車 「長崎駅」 下車、徒歩 3 分
- バス (160 円) 「長崎大学前」 から 「長崎新地」 行きに乗車 「五島町」 下車、徒歩 1 分



- 大会参加費
    - 会 員 5,000 円 (当日は 6,000 円)
    - 学生会員 3,000 円 (当日は 3,500 円)
    - 非会員 6,000 円
    - 学生非会員 3,500 円
    - 非会員の 1 日参加費 2,500 円 (要旨集別売り 1,000 円)
- \* 「講演会・対談」のみの参加は無料です。

● 昼食について

学会による弁当の手配はありません。各自で昼食をご準備下さい。また当日、会場周辺の飲食店は近隣地図でご案内しますので、ご利用下さい。

● 保育室について

大会期間中、ご希望の方は保育室の利用が可能です。

開設時間は、6月25日(土) 8:30-17:00、26日(日) 8:30-15:30。

お預かりできるお子様の年齢は、基本的に、生後3ヶ月から小学校就学前までです。

利用料金は、1時間200円。別途一日当たり数十円の保険に加入していただきます。

ご希望の方は、6月1日(水)までに、下記の事項を記したメールを、

[shoko-n@seinan-gu.ac.jp](mailto:shoko-n@seinan-gu.ac.jp) (54回大会保育室担当：西野) まで送信して下さい。

なお、メールの件名欄に、「保育室利用申込」と明記して下さい。

確認がとれた場合には、2日以内にメールでその旨返信致します。

もし、2日以内に返信の無い場合には、もう一度メールを送り直して下さい。

記載事項は以下の通りです。

1. 利用者(保護者)氏名・連絡先
2. お子様の氏名、性別、年齢
3. 保育室利用予定日時
4. おやつや粉ミルク、湯等の持ち込みの有無
5. 特別な配慮が必要な場合、その内容

● 宿泊等について

お早めにスケジュールにあわせて、各々で確保していただきますようお願い致します。



## 研究発表をされる方への連絡事項

### 【口頭研究発表】

1. 口頭研究発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。
2. パワーポイントをご使用になられる方へ
  - ①各発表会場に用意するパソコンソフトは、Windows 版 PowerPoint2010 です。
  - ②ファイル名は次のようにして下さい。  
半角文字で発表番号、全角で発表者名の順（例：A1-1 赤崎）
  - ③ファイルは、ウイルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持参いただき、以下のように、各自でパソコンにコピーしてください。  
1日目発表：6月25日(土) 8：30～ 9：00（各発表会場において）  
2日目発表：6月26日(日) 8：30～ 9：00（各発表会場において）
  - ④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。
  - ⑤パソコンにコピーしたファイルは、大会終了日に消去します。
3. 配付資料は、発表番号と氏名を明記し、必ず100部用意して、当日早めに各発表会場前の廊下の資料置き場にご提出ください。
4. パワーポイントを使用される場合でも、機器に不具合が生じた時のために、印刷物を100部をご用意ください。
5. 口頭発表の時間は15分、質疑応答の時間は5分です。質疑のない場合は20分まで発表できます。この時間には、資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから、是非ご協力をお願いいたします。
6. 口頭発表開始13分後に1鈴、15分後に第2鈴、20分後に第3鈴をもって終了の合図とします。
7. 発表中止の場合は、できるだけ早めに、大会前の場合は学会事務局へ連絡ください。大会当日は、会場では電話受付できませんので、大会に参加する方に連絡をとるなどして、大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようお願いいたします。発表中止があった場合でも、その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

### 【ポスター研究発表】

1. ポスターは、1発表につき、ヨコ79cm×タテ150cmまで掲示可能です。
2. 指定されたポスター発表番号場所に、発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など、自由にレイアウトしてください。
3. ポスターの掲示期間は、6月25日(土)9:00～6月26日(日)13:10です。  
掲示は、6月25日(土)9:00までに行ってください。
4. 発表者は、ポスター掲示期間中、受付でお渡しするリボンを付けていただき、ポスタープレゼンテーション時間帯には必ずポスター傍に待機してください。  
奇数番号プレゼンテーションは、6月25日(土)12:20～12:50  
偶数番号プレゼンテーションは、6月26日(日)12:40～13:10
5. ポスターは、セロハンテープで貼付してください。実行委員会で掲示場所に準備します。
6. ポスターの撤収は、6月26日(日)13:10以後すみやかに、各自で行ってください。

# 長崎大学キャンパスマップ

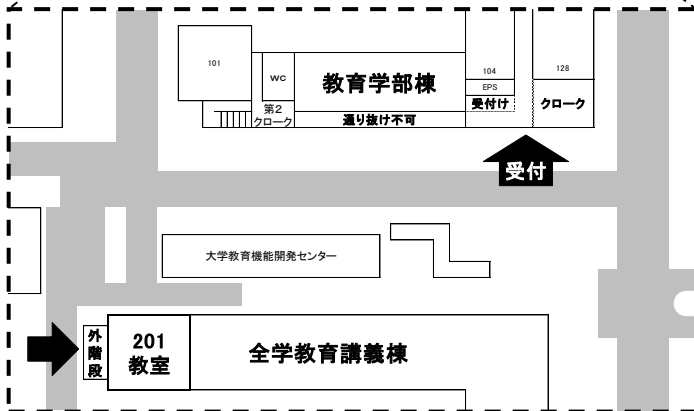
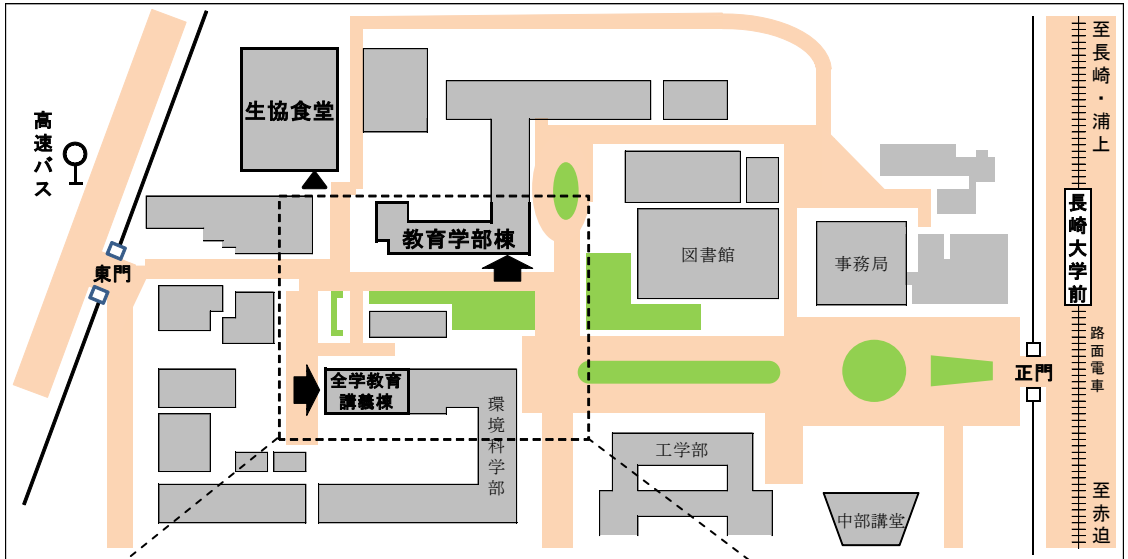
## (全学教育講義棟)

## (教育学部棟)

(1日目)  
総会, 講演会・対談 : 201 教室

(2日目)  
シンポジウム : 201 教室

受付 : 玄関  
 口頭発表 : 31, 32, 33, 42, 43 番講義室  
 ポスター発表 : 24, 25 番講義室  
 書籍展示・頒布 : 23 番講義室  
 保育室 : リフレッシュスペース 2  
 休憩室 : リフレッシュスペース 3, 4,  
 22 番講義室  
 クローク : 玄関横  
 理事会, 地区代表者会議 : 41 番講義室  
 大会実行委員会 : 21 番講義室



# 会場配置図

## 4階

理事会 : 4 1 番講義室  
 口頭発表第4会場 : 4 2 番講義室  
 口頭発表第5会場 : 4 3 番講義室  
 休憩室 : リフレッシュスペース4



## 3階

口頭発表第1会場 : 3 1 番講義室  
 口頭発表第2会場 : 3 2 番講義室  
 口頭発表第3会場 : 3 3 番講義室  
 休憩室 : リフレッシュスペース3



## 2階

大会実行委員会 : 2 1 番講義室  
 休憩室 : 2 2 番講義室  
 書籍展示・頒布 : 2 3 番講義室  
 ポスター第6会場 : 2 4 番講義室  
 ポスター第7会場 : 2 5 番講義室  
 保育室 : リフレッシュスペース2



## 1階

正面玄関 : 受付・クローク



## ●交通アクセス

大会会場：長崎大学教育学 〒852-8521 長崎市文教町 1-14

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html>

JR長崎駅から・路面電車「長崎駅前」→(赤迫行)→「長崎大学前」下車

(約15分) ・長崎バス「長崎駅前」→(1番系統「溝川」「上床」「上横尾」行)→「長崎大学前」下車、徒歩1分

JR浦上駅から・路面電車「浦上駅前」→(赤迫行)→「長崎大学前」下車、徒歩1分

(約10分) ・長崎バス「浦上駅前」→(1番系統「溝川」「上床」「上横尾」行)→「長崎大学前」下車、徒歩1分

長崎空港から・県営バス「長崎空港4番のりば」→(昭和町・浦上経由長崎方面行)→「長大裏門前」下車、1分  
(約50分)

懇親会会場：サンプリエール 〒850-0035 長崎県長崎市元船町 2-4 TEL095-822-3390

・JR長崎駅より徒歩3分

・路面電車「長崎大学前」→(正覚寺行)→「五島町」下車、徒歩1分

・路面電車「長崎大学前」→(蛍茶屋行)→「長崎駅前」下車、徒歩3分

・長崎バス「五島町」バス停前

## 運賃

・路面電車 120円

・長崎バス 150円

・県営バス(長崎空港)

片道 800円

2枚切符 1200円

